

第23回平和祈念展示資料館の運営に関するアドバイザーボード 議事要旨

1 日時：平成29年6月27日（火）10：00～12：15

2 場所：総務省8階第4特別会議室
千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館

3 出席者：（委員）

- ◎ 黒沢 文貴（東京女子大学現代教養学部教授）
- 戸谷 好秀（独立行政法人統計センター顧問）
- 兼川 真紀（弁護士）
- 亀井 昭宏（早稲田大学名誉教授）
- 斎藤 靖二（神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館長）
- 名越 健郎（拓殖大学海外事情研究所教授）

[敬称略、◎は座長、○は座長代理]

（総務省）

佐伯 修司 官房審議官
稲垣 好展 管理室長

4 議事次第

- （1）平和祈念展示資料館の運営に関するアドバイザーボード開催要綱、運営要領について
- （2）座長選出、座長代理指名
- （3）「平成28年度平和祈念展示資料館 運営業務実施報告書」について
- （4）「今後3年間（平成29年度～31年度）の平和祈念展示資料館の運営」について
- （5）「平成29年度平和祈念展示資料館 運営委託業務のポイント」について
- （6）「平成29年度平和祈念展示資料館 運営業務実施計画」について

5 議事要旨

- （1）平和祈念展示資料館の運営に関するアドバイザーボード開催要綱、運営要領について
資料に基づき、事務局から説明が行われた。
- （2）座長選出、座長代理指名
事務局からの構成員紹介に続き、互選により黒沢委員が座長に選任され、黒沢座長から戸谷委員が座長代理に指名された。
- （3）平成28年度平和祈念展示資料館運営業務実施報告書について
委託業者から説明後、意見交換が行われた。

(4) 「今後3年間(平成29年度～31年度)の平和祈念展示資料館の運営」について

資料2に基づき、事務局から説明が行われた。

(5) 「平成29年度平和祈念展示資料館 運営委託業務のポイント」について
資料3に基づき、事務局から説明後、意見交換が行われた。

(6) 平成29年度平和祈念展示資料館運営業務実施計画について
委託業者から説明が行われた。

委員の主な発言等は以下のとおり。

- ホームページについて、コーナータイトルなどの項目だけでも複数言語への翻訳を進めると外国人来館者の増加に繋がるのではないかと。ただし、英語の翻訳をしっかりと行った上で、英語以外の翻訳を検討していただきたい。
- 英語で発信する場合は認識の違いなど難しいこともあるため、日本人の専門家に監修してもらおうとよいだろう。誤解を招きやすい言葉には、注釈を付けるなど丁寧に説明していただきたい。
- ホームページを英訳する際には、サイバー攻撃に備えセキュリティ対策をしっかりと考えていただきたい。
- 総合目録の公開について、公開の範囲や内容をしっかりと検討し、公開できる部分から順次行っていくとよいだろう。
- 資料の保存・管理は重要であるため、引き続き取り組んでいただきたい。
- 学芸員は資料館運営の核となるので、学芸員が知識や技術を学べる体制を整えていくと資料館の質の向上に繋がっていくだろう。
- 地方巡回展で開催地ゆかりの資料を展示することは、来場者に興味を持って見てもらえるためよい取り組みである。今後も続けていただきたい。
- フロア移転について、レイアウトを工夫するなどして新機軸を打ち出すとよいだろう。